

2023年3月10日

「前回分娩時の胎盤用手剥離を要した妊婦の、 分娩時の胎盤用手剥離のリスクについての研究」

1. 研究の対象

産科・婦人科の患者さんで、2017年1月1日から2022年12月31日までの間に経膈分娩された妊産婦のうち、1回以上の経膈分娩の既往のある方

2. 研究目的・方法

「目的」分娩時の胎盤用手剥離のリスク因子について明らかにするため

「方法」対象患者さんの既往歴や分娩結果の調査を行う

「研究期間」倫理委員会承認後～2028年10月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診断名、年齢、性別、病歴、既往歴、妊娠週数、身体所見、治療内容、分娩経過、血液検査結果等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 産科・婦人科

研究責任者：医長 武藤 はる香

電話 06-6692-1201 内線 7151